

社会福祉法人 寿星会

組織運営指針

(役職員必携・必読)

平成 25 年 2 月 1 日

社会福祉法人 寿星会

理事長 村岡 龍太郎

寿星会「法人の組織運営基本方針10カ条」

- 1, 本会は人作り（福祉人）を組織の第一義とする。
- 2, チームケアに徹する
- 3, ターミナルケア、看取りを目指す。
- 4, Care&Careの連携サービスのStructure
☛介護職・看護職・医師はパラレル関係。
- 5, ユニットの経営はユニットリーダーと構成員で行う。
☛ユニットリーダーを中心としたユニット運営
- 6, 個別ケア一計画の励行
- 7, 研修&学習機会の運営
☛地域福祉塾、定期的家族研修、介護員養成教室等の運営
- 8, かかりつけ医への診療介助は法人で行う。
☛但し、施設起点1Km圏内医療施設
- 9, 地域福祉、地域に開かれた施設の在り方を考え、実践する。
☛地域の福祉人口（福祉の理解度が高い住民）を上げる活動
- 10, 入居者の動物飼育は、認める

平成25年1月1日

社会福祉法人寿星会
理事長 村岡 龍太郎

< P o i n t >

明・楽・活の職場風土＝職場は人としての発育の場

寿星会「介護の基本10カ条」

・・・ **手を出すな！目を離すな！**・・・

- 1, 常温人間を作らない。
☛換気、通風、そして季節を皮膚で感じる。
- 2, 車椅子での食事等させない。
☛床に足をつけさせる。
- 3, おむつに頼らない。
☛トイレに座る。
- 4, 適時適温の食事
☛温かいものは温かく、冷たいものは冷たく
- 5, 極力、家庭浴に近い入浴をする。
- 6, お出掛、散歩等を心がける
☛日常生活の単調化を防ぐ
- 7, 利用者が意欲ある物、興味ある事に取り組んでもらう。
- 8, 身体拘束は絶対にしない。
- 9, 生活リハビリを意識する。
- 10, よき話し相手になる。

平成25年1月1日

社会福祉法人寿星会
理事長 村岡 龍太郎

< P o i n t >

対人支援サービスとは、自己の人間力・実践力・現場力。介護は頭脳労働>肉体労働ではない。

寿星会「求める職員像と職員の在り方10ヵ条」

- 1, 「和顔愛語」 いつも笑顔で積極的に挨拶が出来る人
- 2, 「和為貴」 仲間と一緒にチームワークを大切に出来る人
- 3, 相手の立場を思いやり、適切な対応が出来る人
- 4, 「流汗悟道」 汗をかき、知恵を働かせ、プロとしての知・情・意を磨こうと努力をする人
- 5, 職場は人間形成の場、刺激しあい、いたしみ合い、助け合う
職場風土に共感、賛同する人
- 6, 職場を通して、仲間と共に成長したいと望む人
- 7, 組織の目指すべき方向を理解し、共に一歩先を歩みたい人
- 8, 向かい合う関係<並びあえる関係を目指して行こうと思う人
- 9, 違いを差別ではなく、個性として認めあえる人
- 10, 社会人としての常識と道徳を持ち、組織規範とルールを守れる人。

平成25年2月1日
社会福祉法人寿星会
理事長 村岡 龍太郎

< P o i n t >

職員一人一人が自らの命を輝かせ、燃えて、そして人間としての幸せづくりをしていただきたい。

寿星会組織構成員としての心得5カ条

1, 法人・個人としての法令遵守

契約社会・訴訟社会・権利社会・・・求められる職業人としての法令

☞☞危機管理能力、個人情報保護法、人権法、守秘義務は組織人の常識

2, 組織人の行動規範（報告・連絡・相談のコミュニケーション）

三 現

現場に行く

現物を確認する

現状を把握する

三 報

第一報

☞事実を報告

第二報

☞調査内容を報告

第三報

☞解決方法を述べる

三確認

理解内容を

確認する

行動の実行を

確認する

結果(成果)を

確認する

☞☞「事故」「ヒヤリ・ハット」「ヒューマンエラー」は有る物。個人で抱えず組織で対応。

3, 充実した仕事は、心身の健康が前提

☞☞肉体的、精神的ストレスや負荷を伴いやすい故、「溜めない」「吐き出し」

の工夫等セルフコントロールに気を配る。

4, Not to be model（やってはいけない事）

人権の侵害	差別、セクハラ、プライバシー
社会常識逸脱行為	反社会的勢力、道交法、文書偽造
フェアでない行為	インサイダー、道義違反
就業規則・服務規程	風紀、信用。業者癒着。報告放置
労働基準・協定違反	休暇、残業
個人情報保護法違反	利用者情報漏えい、守秘義務
知的財産の使用	ソフト、ロゴ等の転用
組織危機管理	法人情報の漏洩

5, 社会人としての最大のマナーは？

☞☞おもいやる心、その道のプロ意識

寿星会で働く私達の仕事は・・・・・・・・

- 1、福祉とは？ 「福」＝幸福の福 「祉」＝さいわい
・・・・・・・・福祉とは幸せ作りのサービス
- 2、利用者は？・・・・・・・・D・マーフィーの「MBAマーケティング」
(一部村岡の個人的修正を加える)
 - ①「利用者」は、私達にとってもっとも重要な人たちである。
 - ②、私達がいなくても利用者は困らない。利用者がいなければ困るのは私達だ。
 - ③「利用者」は、私達の仕事をさまたげるものではなく、私達の仕事の目的である。
 - ④「利用者」は、自分にとって必要なものを求めてやってくる。私達の仕事はそれを提供し、「利用者」に満足していただくことであり、その対価として報酬を頂くのだ。
 - ⑤「利用者」は、私達を困らせる存在ではない。私達に仕事の注文をだしてくれているのである。

☞大きな誤解・・・・・・・・

- ①「利用者が困っているから私達がやっ^てあげ^てい^る？」
＝私達の仕事を提供してくれているのである
- ②「利用者はどこにでもいる」
＝利用者から選択されない
- ③「利用者が困難ケースだから、生活保護だから・・・」
＝地域福祉の使命や理念の無い事業体は淘汰される
＝自己成長の材料を提供してくれているのである。

3、施設に働く人は？

福祉サービスは人間産業＝介護サービスの質＝人材

職員は人手ではない。人材＝才知ある人物、役に立つ人物」（広辞苑）

「人罪」「人在」→→「人材」そして「人財」へ

- ・「人罪」組織の秩序を乱す存在
- ・「人在」要員上基準をみたすだけ存在
- ・「人材」役に立つ存在
- ・「人財」組織にとっての宝物の存在

☞求められる人材とは？ 有資格者より人格者（人間性）

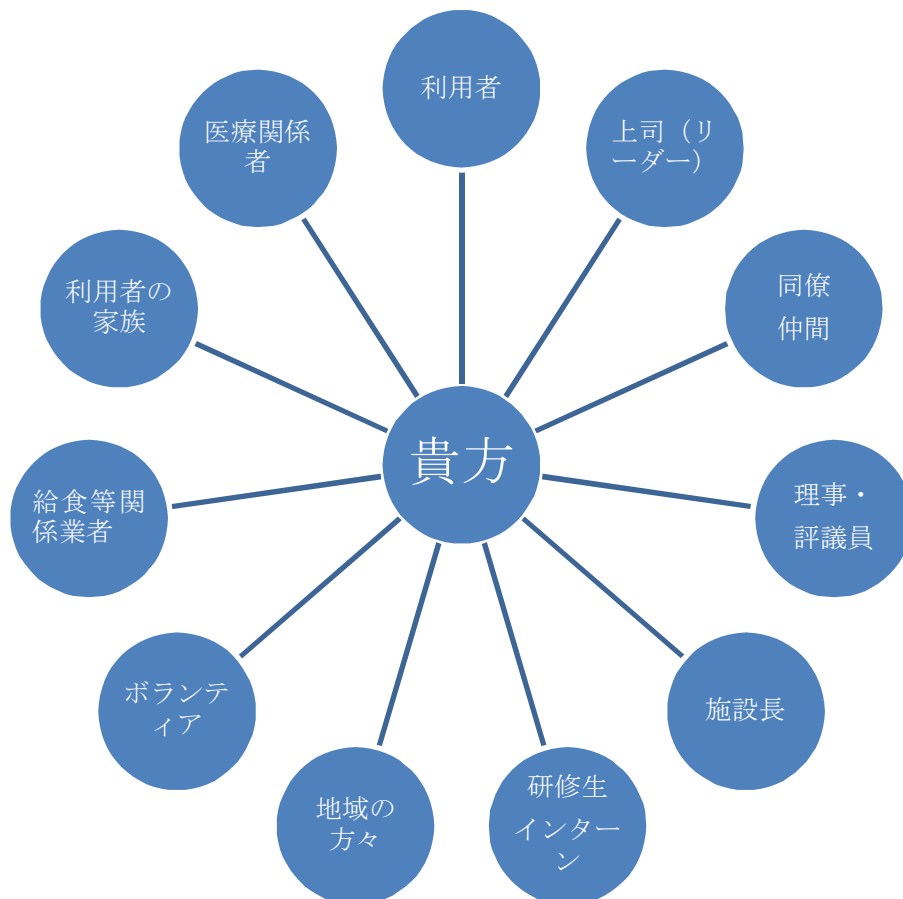
→→実社会から隔離された福祉現場で資格に身を包みひがんで形成された人間より、自己研鑽を積み人間を磨き続けること

仲間と共に自己の人間力を養い、鍛え、切磋琢磨すること。

（切磋琢磨とは、切って磨き、刻んで磨き、叩いて磨き、こすって磨く）詩経

4, 健康な人間関係の樹立=コミュニケーション

私達は多くの関係者と接し、意思の疎通を図り、利用者本位のサービスを提供



5, 介護サービスはバスケット型プレー

👉 全員FW・DFのチームプレーである。

6, 福祉サービスとは?・・・福祉サービスの特徴

・ 私達が提供する「商品」は? サービスという目に見えにくい「商品」を提供しているのです。

- ① 欲しくて求める商品(サービス)ではない。
- ② 情報の非対称性がある。
- ③ 利用者の背後にある種々の問題や状況を把握が重要
- ④ サービス提供者と利用者の協力なくして成り立たない
- ⑤ 公共性とサービスの継続性

福祉サービスは行き着く処は自らの人間性を磨くことにたどり着く